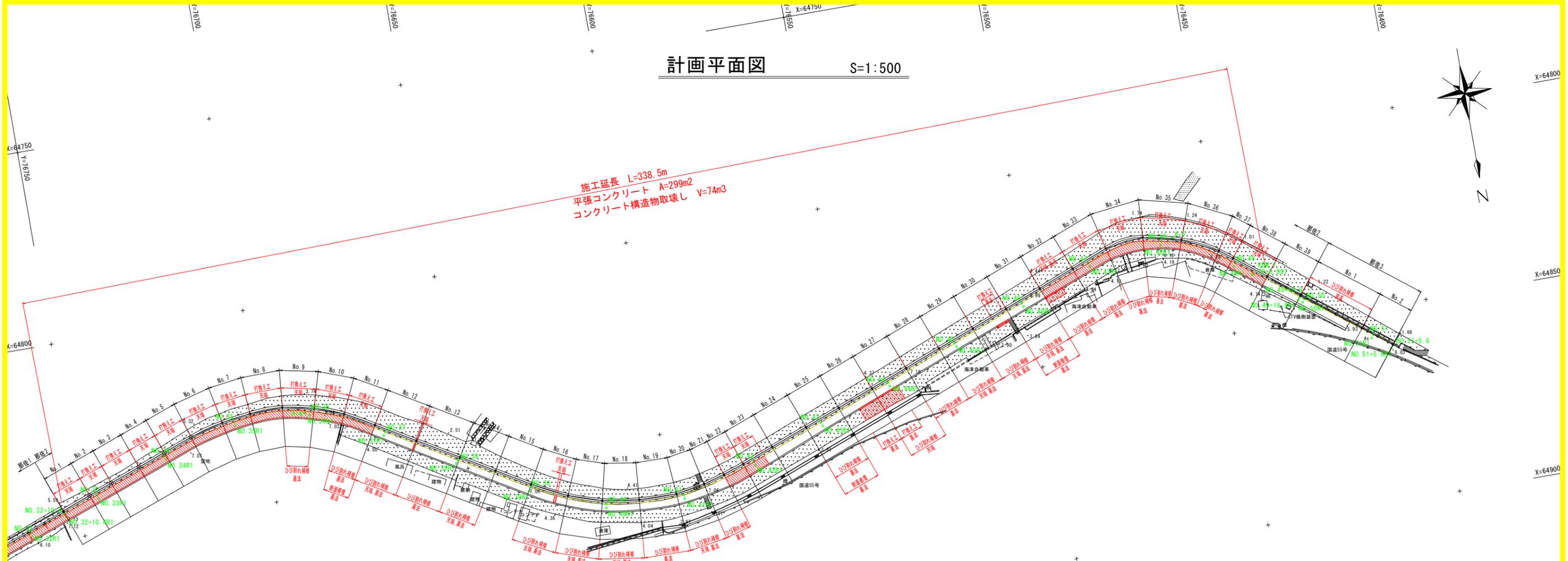


# 計画平面図 S=1:500

施工延長 L=338.5m  
 平張コンクリート A=299m<sup>2</sup>  
 コンクリート構造物取壊し V=74m<sup>3</sup>



中心点座標リスト

点名	X座標	Y座標
NO. 32	64847.015	76763.996
NO. 32+10.4	64843.463	76754.182
NO. 33	64840.207	76745.190
NO. 34	64833.345	76726.404
NO. 35	64827.800	76707.223
NO. 36	64828.545	76687.396
NO. 37	64837.088	76669.406
NO. 38	64847.372	76652.252
NO. 39	64857.569	76635.047
NO. 40	64865.190	76616.620
NO. 41	64866.320	76596.709
NO. 42	64861.083	76577.445
NO. 43	64854.101	76558.704
NO. 44	64847.080	76539.976
NO. 45	64840.038	76521.257
NO. 46	64832.914	76502.569
NO. 47	64825.755	76483.894
NO. 48	64823.463	76464.399
NO. 49	64832.268	76446.640
NO. 49+18.8	64843.688	76431.752
NO. 50	64844.438	76430.770
NO. 51	64856.554	76414.857
NO. 51+5.6	64859.959	76410.366

控え点座標リスト

点名	X座標	Y座標
NO. 32R1	64847.956	76763.655
NO. 32+10.4R1	64844.403	76753.842
NO. 33R1	64841.147	76744.847
NO. 34R1	64834.288	76726.071
NO. 35R1	64828.796	76707.135
NO. 36R1	64829.483	76687.741
NO. 37R1	64837.946	76669.920
NO. 38R1	64848.232	76652.762
NO. 39R1	64858.461	76635.499
NO. 40R1	64866.181	76616.752
NO. 41R1	64867.299	76596.506
NO. 42R1	64862.020	76577.096
NO. 43R1	64855.037	76558.353
NO. 44R1	64848.016	76539.624
NO. 45R1	64840.973	76520.901
NO. 46R1	64833.849	76502.214
NO. 47R1	64826.709	76483.589
NO. 48R1	64824.410	76464.719
NO. 49R1	64833.061	76447.250
NO. 49+18.8R1	64844.482	76432.359
NO. 50R1	64845.233	76431.377
NO. 51R1	64857.351	76415.461
NO. 51+5.6R1	64860.756	76410.970

補修数量総括表

区間名	スパンNO.	部材名	補修数量			
			D/D付れ補修工(A)	D/D付れ補修工(B)	打換え工	断面修復工
那佐2	1	天端被覆工	-	-	13.65m <sup>2</sup>	-
	2	天端被覆工	-	-	11.20m <sup>2</sup>	-
	3	天端被覆工	-	-	14.35m <sup>2</sup>	-
	4	天端被覆工	-	-	13.13m <sup>2</sup>	-
	5	天端被覆工	-	-	14.00m <sup>2</sup>	-
	6	天端被覆工	-	-	14.79m <sup>2</sup>	-
	7	天端被覆工	-	-	12.92m <sup>2</sup>	-
	8	天端被覆工	-	-	14.28m <sup>2</sup>	-
	9	天端被覆工	-	-	13.94m <sup>2</sup>	-
			裏法被覆工	-	0.30m	-
10	天端被覆工	-	-	13.26m <sup>2</sup>	-	
11	天端被覆工	-	-	14.28m <sup>2</sup>	-	
		裏法被覆工	0.80m	10.05m	-	0.98m <sup>2</sup>
12	天端被覆工	1.42m	2.83m	0.85m <sup>2</sup>	-	
		裏法被覆工	-	4.25m	-	-
13	裏法被覆工	4.75m	4.76m	-	-	
14	天端被覆工	3.03m	-	-	-	
		裏法被覆工	-	3.85m	-	-
16	天端被覆工	-	2.00m	0.85m <sup>2</sup>	-	
		裏法被覆工	4.05m	-	-	-
17	天端被覆工	1.85m	3.79m	-	-	
		裏法被覆工	-	4.10m	-	-
18	天端被覆工	1.82m	3.49m	-	-	
		裏法被覆工	-	4.10m	-	-
19	裏法被覆工	4.70m	-	-	-	
20	天端被覆工	-	1.94m	-	-	
		裏法被覆工	-	5.27m	-	-

補修数量総括表

区間名	スパンNO.	部材名	補修数量				
			D/D付れ補修工(A)	D/D付れ補修工(B)	打換え工	断面修復工	
那佐2	21	裏法被覆工	-	4.50m	-	-	
	22	天端被覆工	-	-	※13.65m <sup>2</sup>	-	
	23	天端被覆工	-	-	※13.82m <sup>2</sup>	-	
	25	裏法被覆工	4.09m	5.90m	-	0.30m <sup>2</sup>	
	26	裏法被覆工	-	-	5.40m <sup>3</sup>	-	
	27	天端被覆工	3.44m	-	-	-	
			裏法被覆工	-	-	6.07m <sup>3</sup>	-
	28	天端被覆工	-	-	-	-	
			裏法被覆工	-	5.60m	-	-
	29	天端被覆工	1.73m	-	-	-	
		裏法被覆工	2.10m	-	-	-	
30	天端被覆工	-	1.76m	-	-		
		裏法被覆工	-	4.50m	0.48m <sup>3</sup>	-	
31	天端被覆工	-	1.79m	-	-		
		裏法被覆工	3.40m	4.00m	-	0.66m <sup>2</sup>	
32	天端被覆工	-	-	※18.03m <sup>2</sup>	-		
		裏法被覆工	1.06m	-	2.51m <sup>3</sup>	-	
33	天端被覆工	-	-	※19.60m <sup>2</sup>	-		
		裏法被覆工	-	2.58m	-	-	
34	天端被覆工	-	-	※21.05m <sup>2</sup>	-		
		裏法被覆工	-	10.65m	-	-	
35	天端被覆工	-	-	※19.25m <sup>2</sup>	-		
		裏法被覆工	-	3.44m	-	-	
36	天端被覆工	-	-	※16.85m <sup>2</sup>	-		
		裏法被覆工	-	2.15m	-	-	
37	天端被覆工	-	-	※7.14m <sup>2</sup>	-		
		裏法被覆工	-	1.10m	-	-	
38	天端被覆工	-	-	※17.25m <sup>2</sup>	-		
那佐3	1	波返し	-	5.32m	-	-	

※空用化発生箇所

基準点座標リスト

点名	X座標	Y座標	Z座標
A-0	64670.349	77306.803	8.088
A-1	64701.512	77247.766	8.105
A-2	64786.232	77128.451	9.175
A-3	64902.851	77000.401	7.194
A-4	64828.574	76688.872	7.080
A-5	64823.305	76461.546	7.615

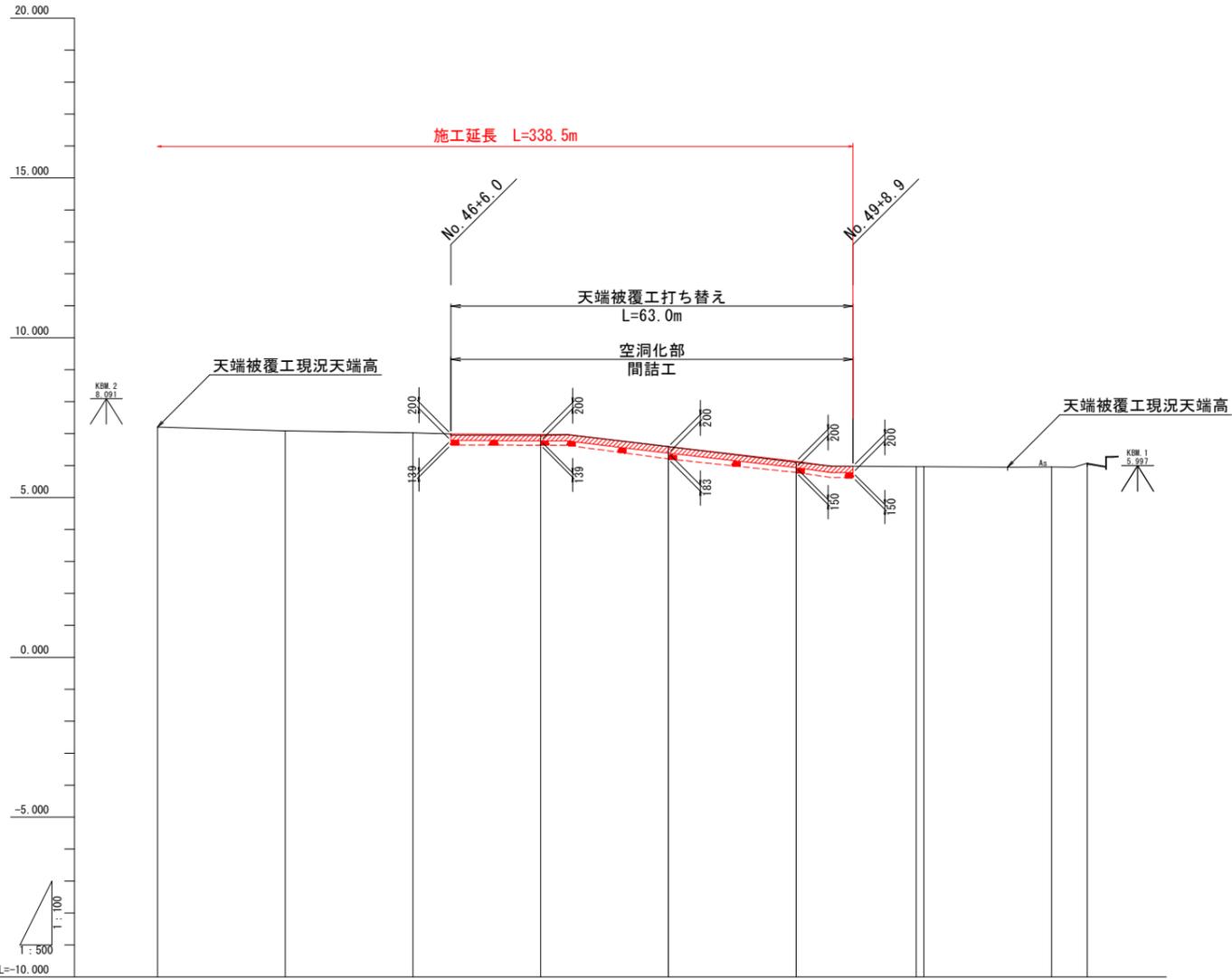
※Z座標は直接水準による値

実施設計図面

工事名	R1波土 穴喰海岸 海・穴喰浦 堤防修繕工事		
路線名等	穴喰海岸		
工事箇所	海部郡海陽町穴喰浦		
図面名	計画平面図		
縮尺	1:500	図面番号	1 / 12
会社名			
事業所名	徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>		



縦断図(その2) V=1:100  
H=1:500



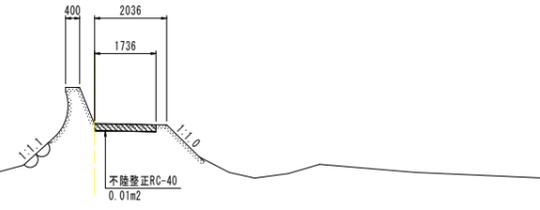
スパン	那佐2-27 10.185 (10.200)	那佐2-28 9.866 (9.900)	那佐2-29 10.062 (10.000)	那佐2-30 9.951 (10.000)	那佐2-31 10.130 (10.100)	那佐2-32 9.823 (9.900)	那佐2-33 9.870 (10.000)	那佐2-34 9.662 (10.000)	那佐2-35 9.715 (10.000)	那佐2-36 9.821 (10.000)	那佐2-37 4.944 (4.200)	那佐2-38 9.974 (10.000)	那佐2-39 9.837 (9.900)
計画高						6.974		6.591		6.135			
地盤高	7.203		7.084		7.021		6.907		6.591		6.097		5.969 5.894
追加距離	880.000		900.000		920.000		940.000		960.000		980.000		1000.000 1020.000
単距離	20.000		20.000		20.000		20.000		20.000		20.000		11.000 1.200 20.000 5.600
測点	NO.44		NO.45		NO.46		NO.47		NO.48		NO.49		NO.49+8.9 NO.50 NO.51 NO.51+5.6

※スパンは、長寿命化計画策定時に波返工の施工目地を境界として設定した区間とする。  
 ※スパンの( )内数値は、長寿命化計画策定時のスパン延長を示す。  
 ※那佐2区間のスパンは、表法被覆工海側の腹付コンクリート部の施工目地を境界として設定した区間とする。

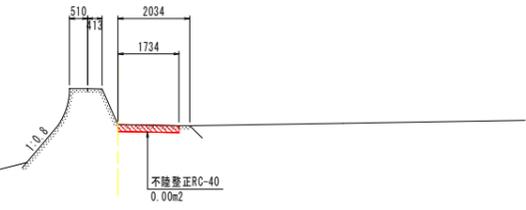
実施設計図面			
工事名	R1波土 穴喰海岸 海・穴喰浦 堤防修繕工事		
路線名等	穴喰海岸		
工事箇所	海部郡海陽町穴喰浦		
図面名	縦断図(その2)		
縮尺	V=1:100 H=1:500	図面番号	3 / 12
会社名			
事業所名	徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>		

# 横断図(その1) S=1:100

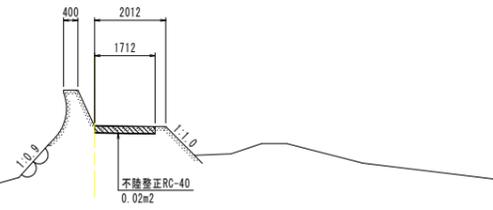
NO. 32  
GH=7.140  
FH=7.162



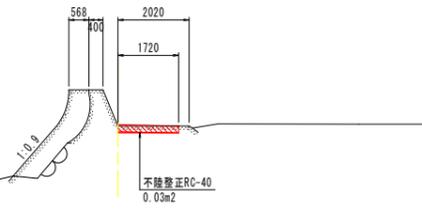
NO. 33  
GH=7.131  
FH=7.135



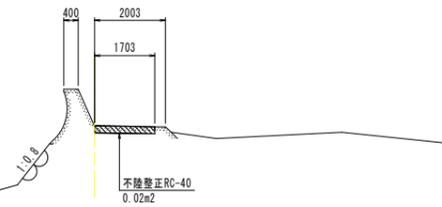
NO. 31  
GH=7.134  
FH=7.156



NO. 32+10.4  
GH=7.145  
FH=7.179



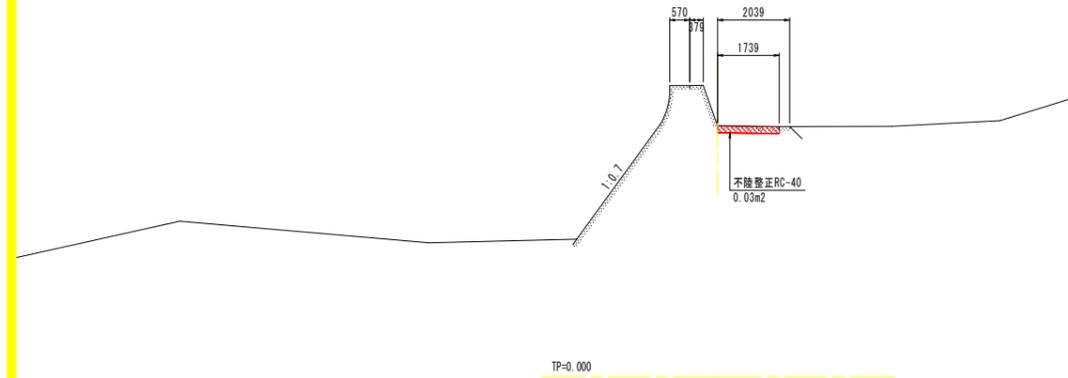
NO. 30  
GH=7.102  
FH=7.112



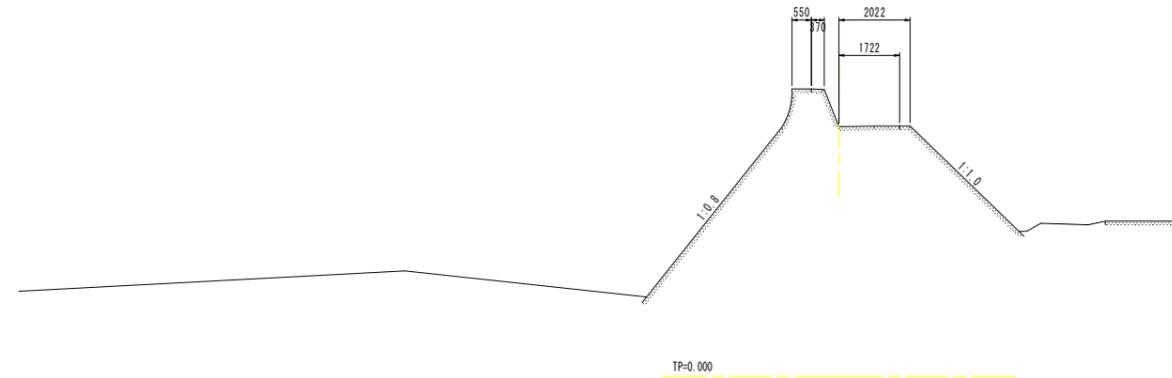
実施設計図面			
工事名	R1波土 穴喰海岸 海・穴喰浦 堤防修繕工事		
路線名等	穴喰海岸		
工事箇所	海部郡海陽町穴喰浦		
図面名	横断図(その1)		
縮尺	1:100	図面番号	4 / 12
会社名			
事業所名	徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>		

横断図(その2) S=1:100

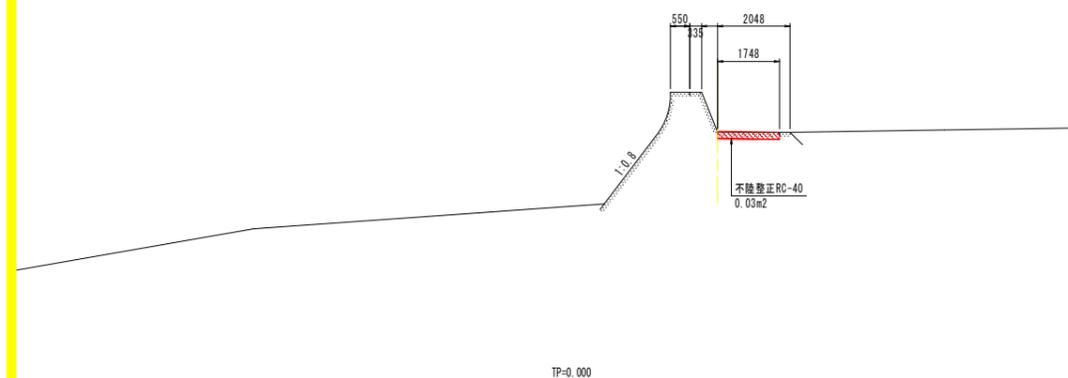
NO. 36  
GH=7.085  
FH=7.109



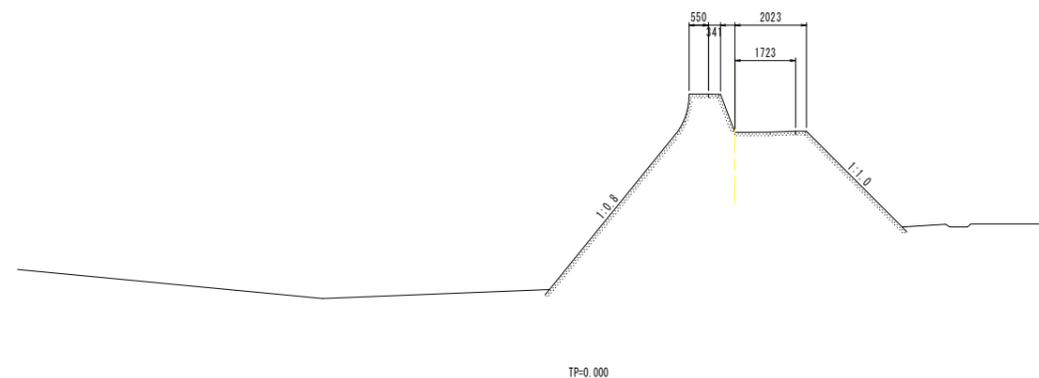
NO. 38  
GH=7.069  
FH=



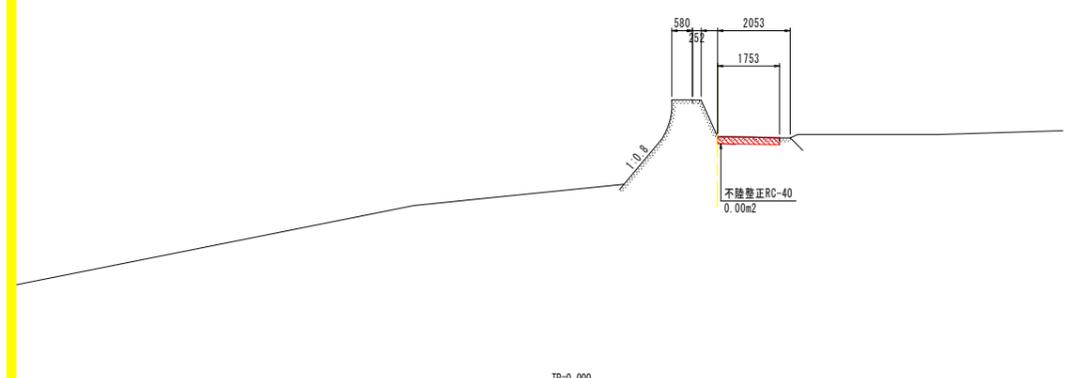
NO. 35  
GH=7.081  
FH=7.111



NO. 37  
GH=7.077  
FH=7.143



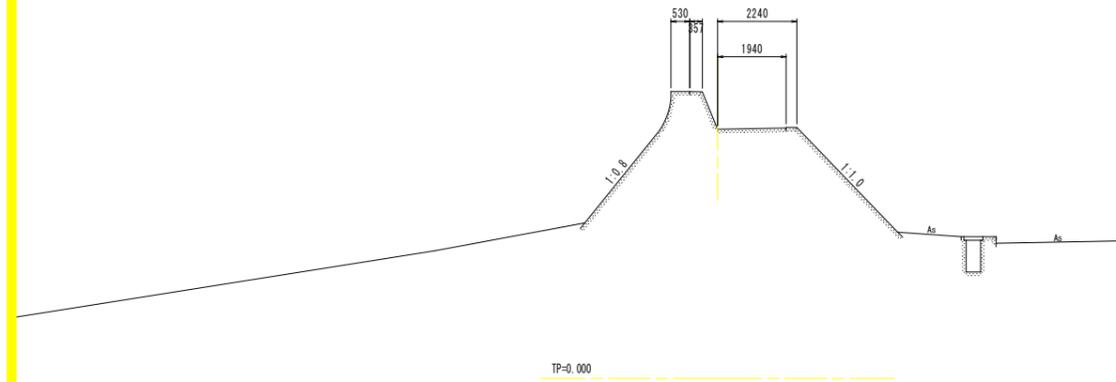
NO. 34  
GH=7.115  
FH=7.120



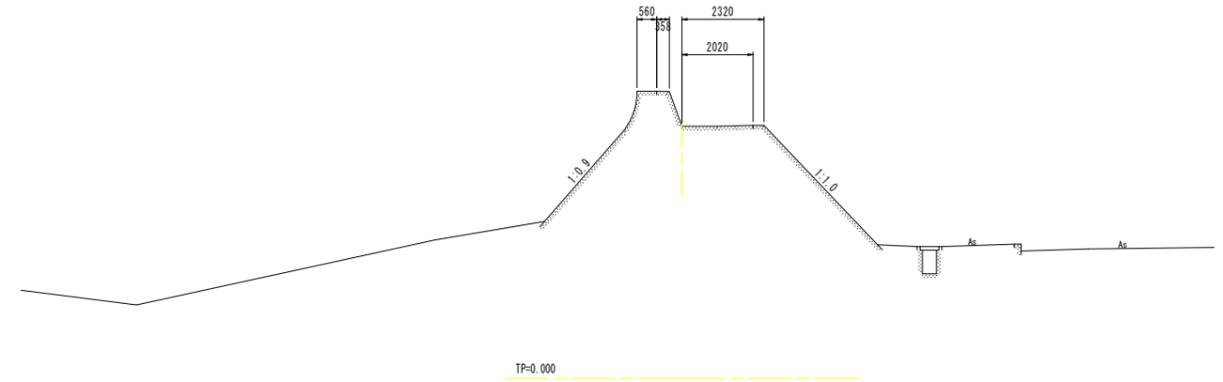
実施設計図面			
NO. 34~NO. 38			
工事名	R1波土 穴喰海岸 海・穴喰浦 堤防修繕工事		
路線名等	穴喰海岸		
工事箇所	海部郡海陽町穴喰浦		
図面名	横断図(その2)		
縮尺	1:100	図面番号	5 / 12
会社名			
事業所名	徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>		

横断図(その3) S=1:100

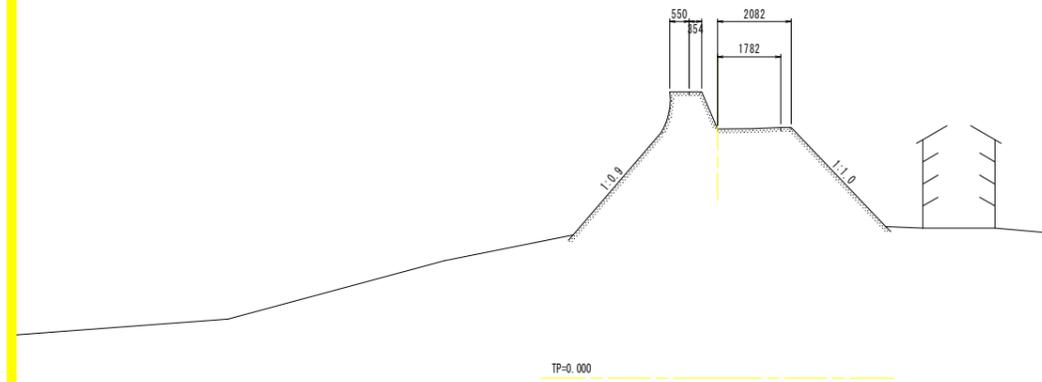
NO. 41  
GH=7.056  
FH=



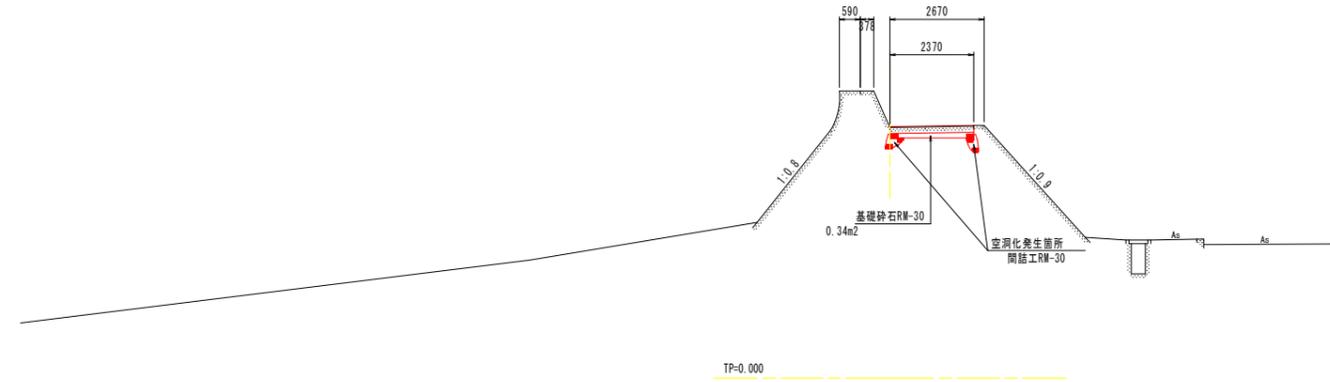
NO. 43  
GH=7.140  
FH=



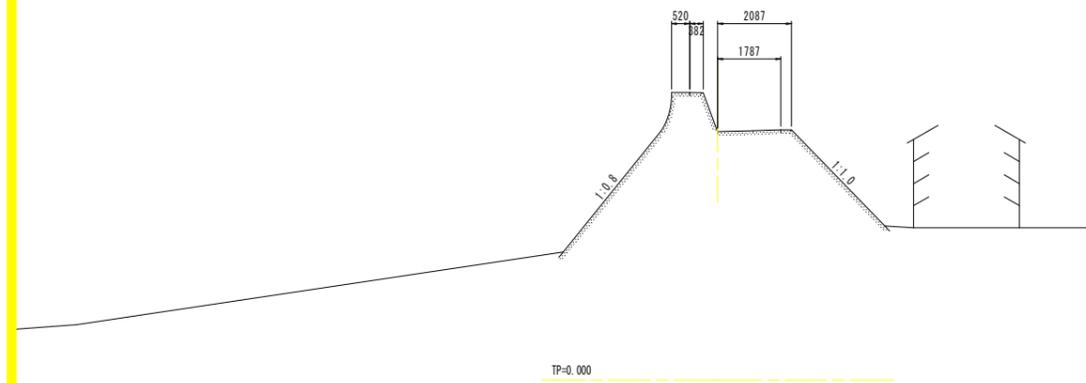
NO. 40  
GH=7.056  
FH=



NO. 42  
GH=7.100  
FH=7.126



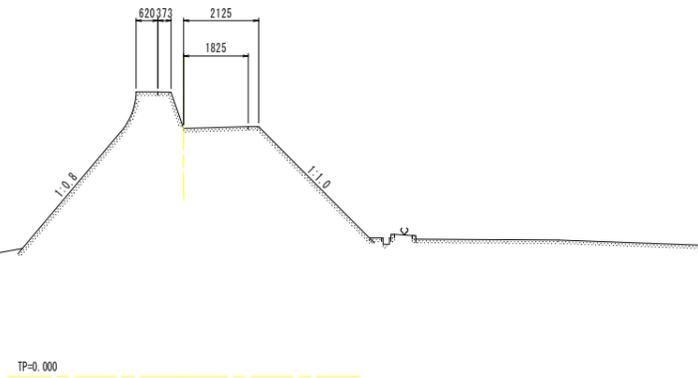
NO. 39  
GH=7.036  
FH=



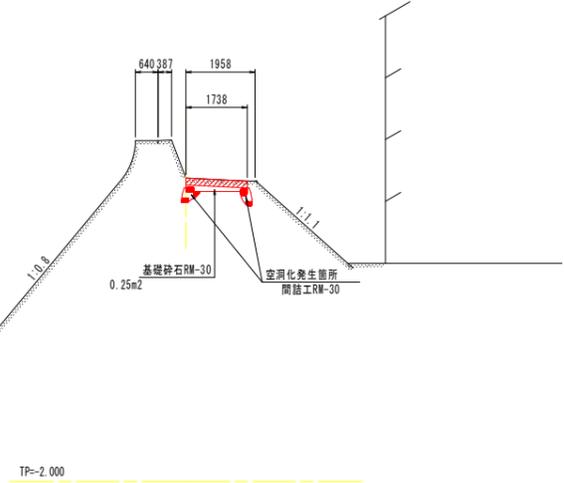
実施設計図面			
NO. 39~NO. 43			
工事名	R1波土 穴喰海岸 海・穴喰浦 堤防修繕工事		
路線名等	穴喰海岸		
工事箇所	海部郡海陽町穴喰浦		
図面名	横断図(その3)		
縮尺	1:100	図面番号	6 / 12
会社名			
事業所名	徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>		

横断図(その4) S=1:100

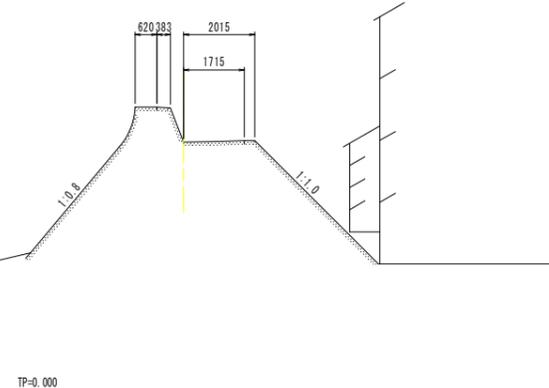
NO. 46  
GH=7.021  
FH=



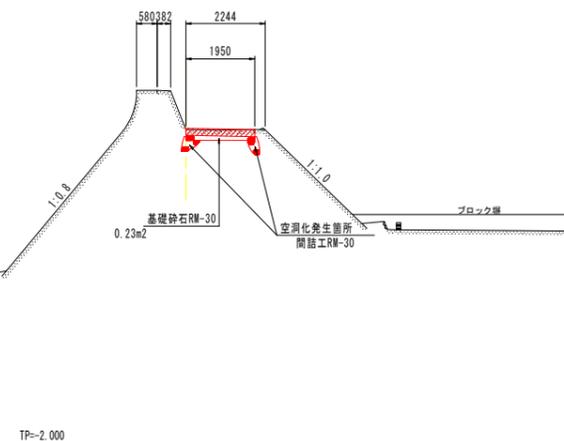
NO. 48  
GH=6.591  
FH=6.591



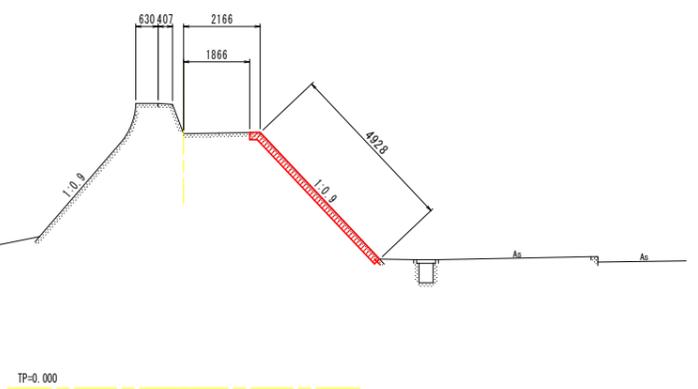
NO. 45  
GH=7.086  
FH=



NO. 47  
GH=6.937  
FH=6.974



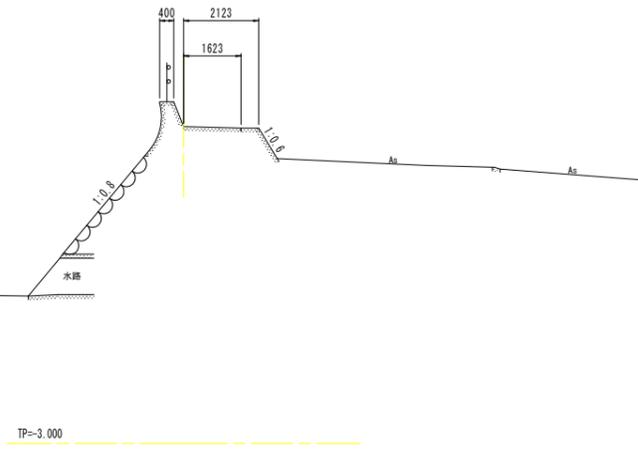
NO. 44  
GH=7.203  
FH=



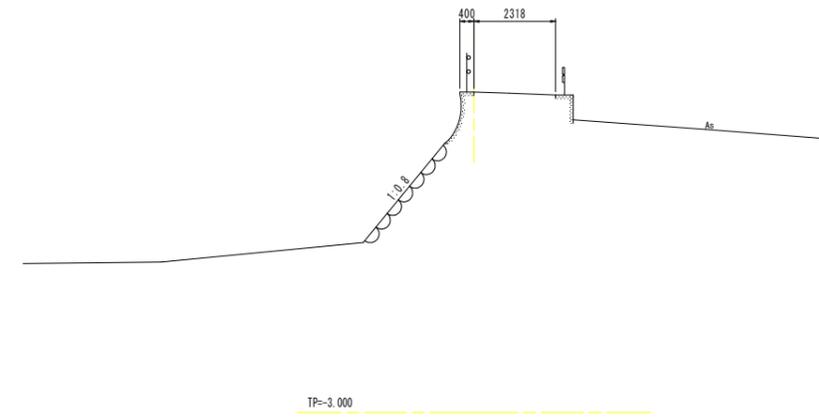
実施設計図面			
NO. 44~NO. 48			
工事名	R1波土 穴喰海岸 海・穴喰浦 堤防修繕工事		
路線名等	穴喰海岸		
工事箇所	海部郡海陽町穴喰浦		
図面名	横断図(その4)		
縮尺	1:100	図面番号	7 / 12
会社名			
事業所名	徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>		

横断図(その5) S=1:100

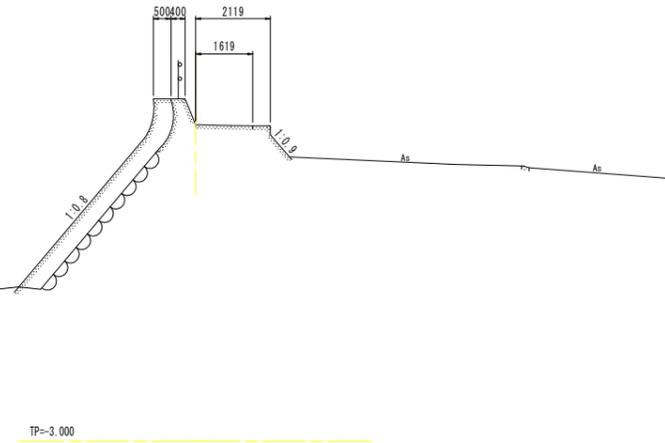
NO. 50  
GH=5.966  
FH=



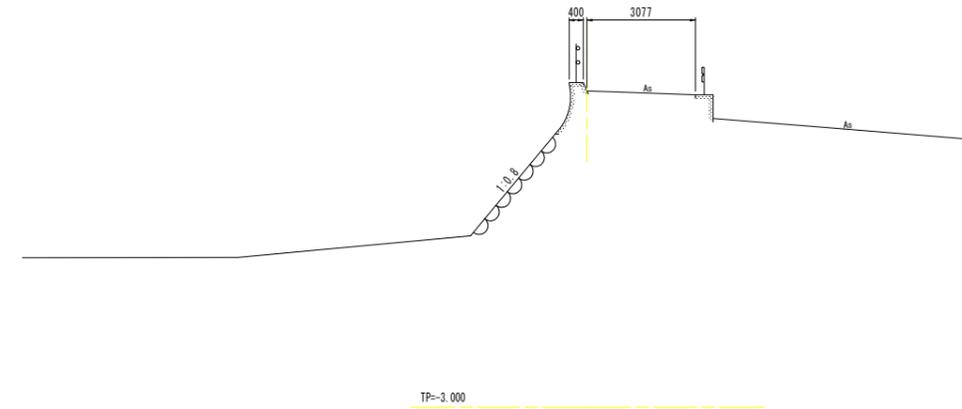
NO. 51+5.6  
GH=6.071  
FH=



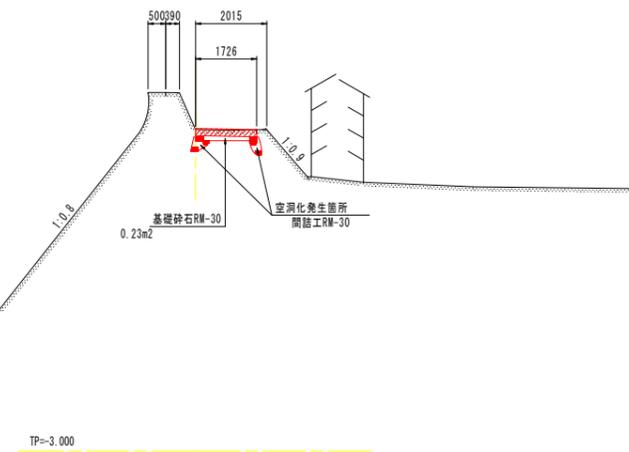
NO. 49+18.8  
GH=5.961  
FH=



NO. 51  
GH=5.959  
FH=



NO. 49  
GH=6.097  
FH=6.135

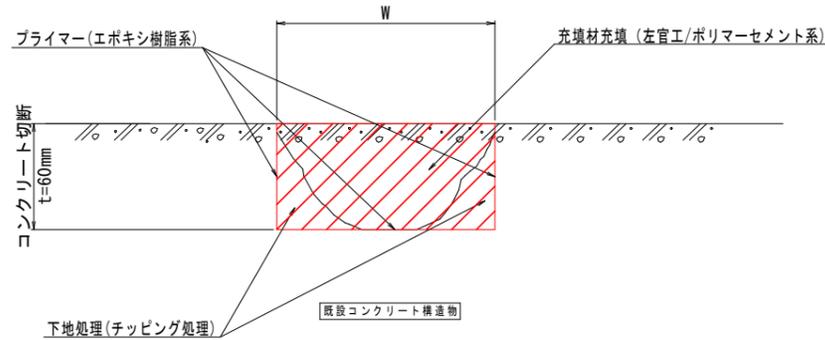


実施設計図面			
工事名	R1波土 穴喰海岸 海・穴喰浦 堤防修繕工事		
路線名等	穴喰海岸		
工事箇所	海部郡海陽町穴喰浦		
図面名	横断図(その5)		
縮尺	1:100	図面番号	8 / 12
会社名			
事業所名	徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>		

# 補修工一般図

## 断面修復工法 (剥離・欠損)

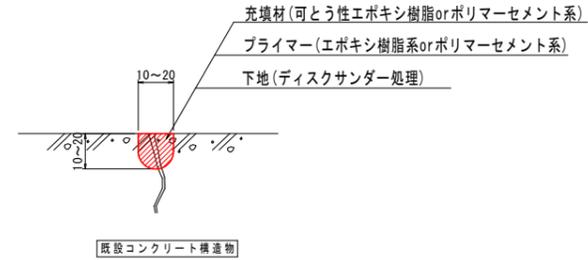
S=F/S



※一般的な補修工法で計画しているが、施工時に補修状況に応じて補修工法の変更をする場合は監督員と協議する。

## ひび割れ補修工 (充填工)

S=F/S



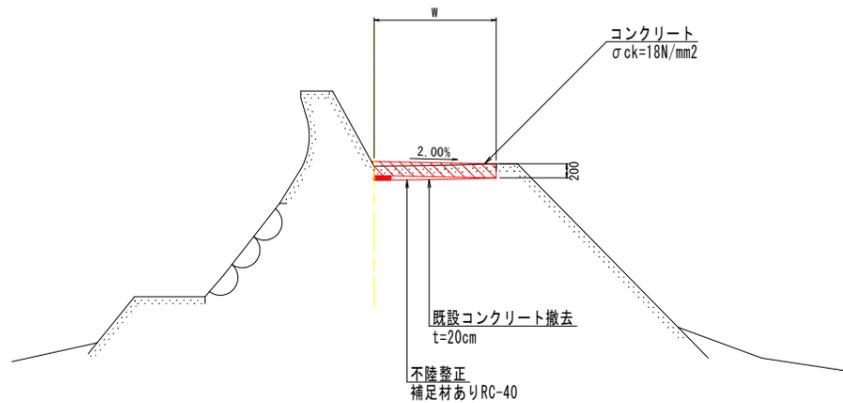
補修内容	使用材料	適用
ひび割れ補修工(A)	可とう性エポキシ樹脂	最大ひび割れ幅5mm未満/1箇所当り
ひび割れ補修工(B)	ポリマーセメント系	最大ひび割れ幅5mm以上/1箇所当り

※ひび割れ補修工に用いる充填材は、可とう性エポキシ樹脂が一般的であるが、ひび割れ幅が大きく、最大ひび割れ幅が5mm以上の箇所の断面修復工として充填材はポリマーセメント系とするが、使用材料については、補修状況に応じて監督員と協議し調整を行うものとする。

## 打換え工 (天端被覆工：空洞化対策工無し)

S=1:50

NO. 31付近

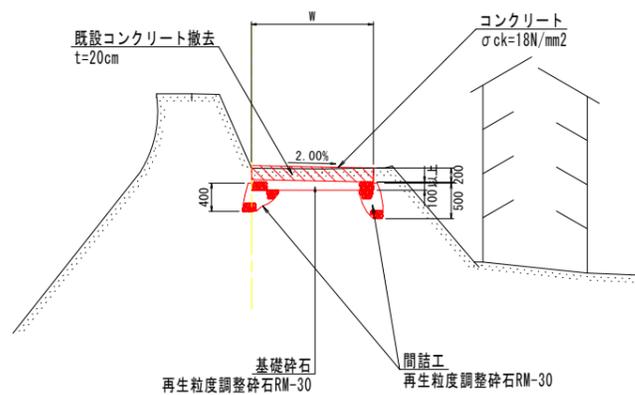


※ひび割れの発生を抑制するため、目地設置間隔は5mを標準とし、基本的には、波返工の既設目地位置に合わせるものとする。  
 ※金網は、既設コンクリートに設置されていないため、打換え時においても設置しないものとする。  
 ※横断勾配は2%を標準とするが、既設コンクリートとの擦付けが難しい場合は、既設コンクリートに合わせて調整を行う。

## 打換え工 (天端被覆工：空洞化対策工有り)

S=1:50

NO. 49付近

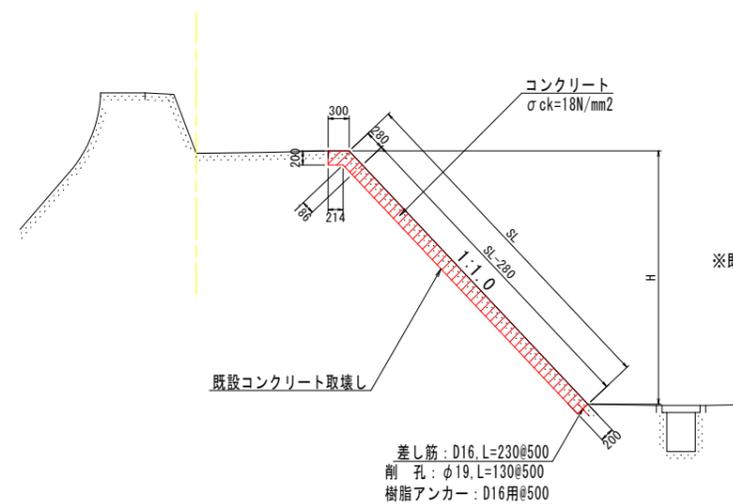


※上記の対策断面は、調査設計時に試掘調査を行い、天端被覆工下面部、波返工下部及び裏法被覆工背後に深さ10cm~50cm程度の空洞化が生じていたことを踏まえて計画した断面である。  
 ※施工範囲は、地中レーダー探査により空洞化が生じている可能性が高いと判断された範囲で計画しているが、施工時に隣接スパンなど新たに空洞化が生じていると確認される場合は、施工範囲について、監督員と協議し調整を行うものとする。

## 打換え工 (裏法被覆工)

S=1:50

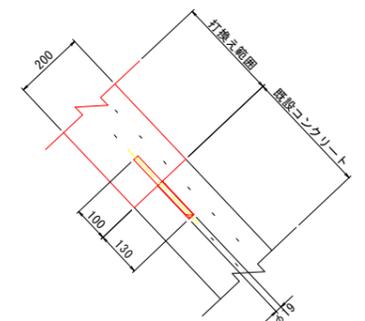
NO. 44付近



※裏法被覆工の打換え工は、防潮堤背後の保有林や隣接する民家に影響を及ぼさないよう堤体の安定性に留意し施工を行うものとし、施工が難しいと判断される場合は、監督員と協議し、施工範囲の調整を行うものとする。

## 差し筋詳細図

S=1:10



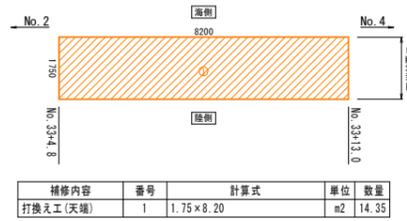
※既設コンクリートとの打継目には差し筋アンカーを施工する。

実施設計図面

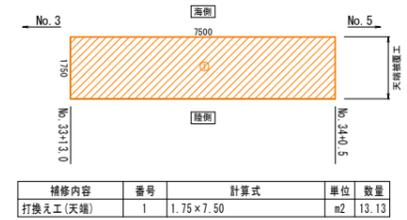
工事名	R1波土 穴喰海岸 海・穴喰浦 堤防修繕工事		
路線名等	穴喰海岸		
工事箇所	海部郡海陽町穴喰浦		
図面名	補修工一般図		
縮尺	図示	図面番号	9 / 12
会社名			
事業所名	徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>		

# 展開図(その1) S=1:100

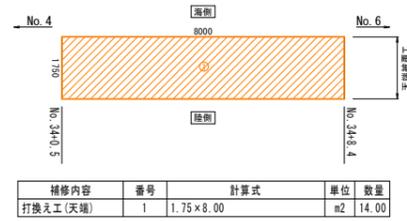
那佐2-スパンNo. 3



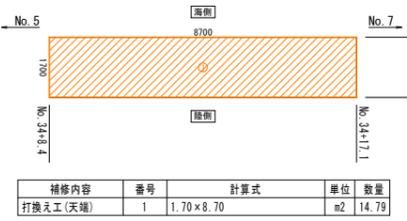
那佐2-スパンNo. 4



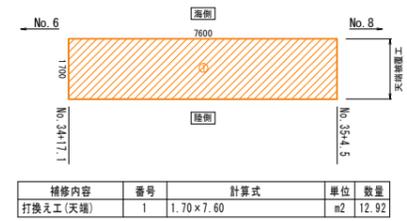
那佐2-スパンNo. 5



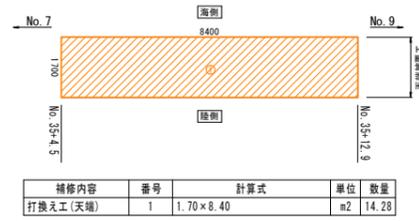
那佐2-スパンNo. 6



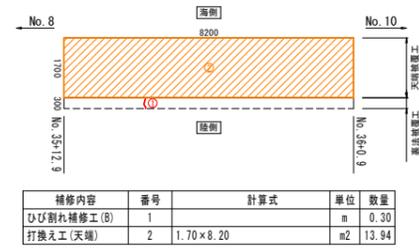
那佐2-スパンNo. 7



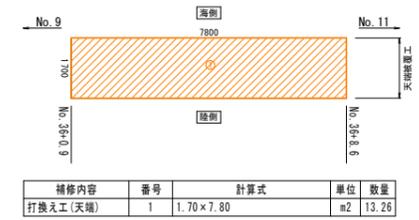
那佐2-スパンNo. 8



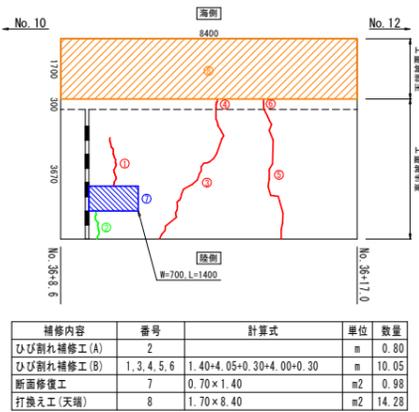
那佐2-スパンNo. 9



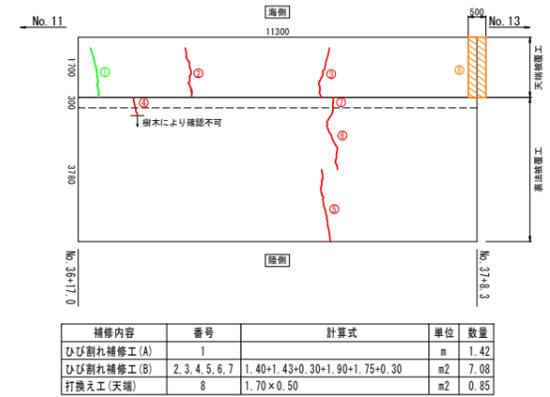
那佐2-スパンNo. 10



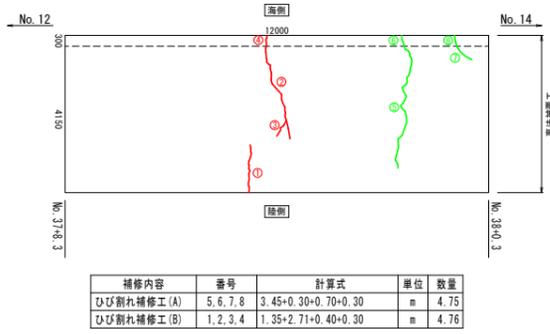
那佐2-スパンNo. 11



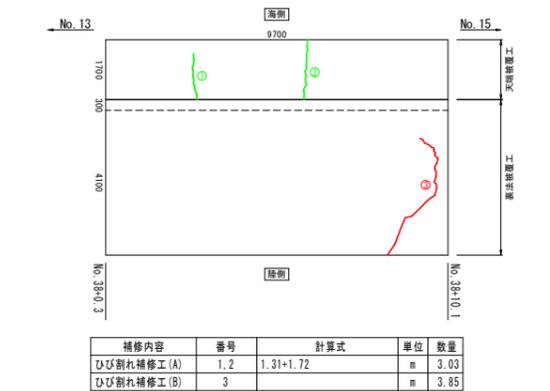
那佐2-スパンNo. 12



那佐2-スパンNo. 13



那佐2-スパンNo. 14



補修対策工凡例	
ひび割れ補修工(A)	—
ひび割れ補修工(B)	—
断面修復工	■
打換え工(天端)	■
打換え工(裏法)	■
目地補修工	▽

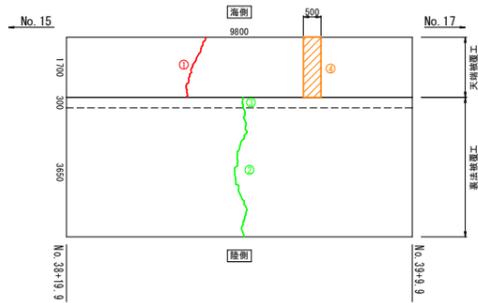
実施設計図面

工事名	R1波士 穴喰海岸 海・穴喰浦 堤防修繕工事		
路線名等	穴喰海岸		
工事箇所	海部郡海陽町穴喰浦		
図面名	展開図(1)		
縮尺	1:100	図面番号	10 / 12
会社名			
事業所名	徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>		

※裏法被覆工の補修において、保有林や民家が支障となる場合は、監督員と協議し、補修範囲を変更するものとする。  
 ※施工目地はひび割れの発生を抑制するため、目地設置間隔は5mを標準とし、基本的には波返工の既設目地位置に合すものとする。  
 ※展開図は、計画時点での変状調査により補修が必要と判断された変状に対して作成したものであり、施工時に補修範囲や数量の変更が必要な場合は、監督員と協議を行うものとする。

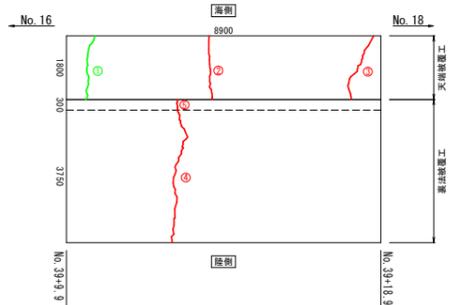
展開図(その2) S=1:100

那佐2-スパンNo. 16



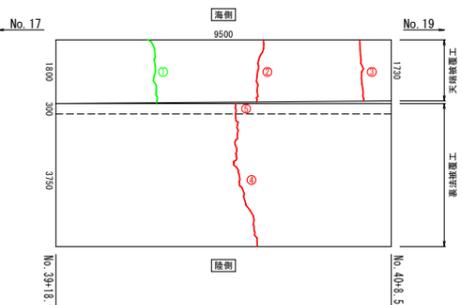
補修内容	番号	計算式	単位	数量
ひび割れ補修工(A)	2,3	3.75+0.30	m	4.05
ひび割れ補修工(B)	1		m	2.00
打換え工(天端)	4	1.70×0.50	m <sup>2</sup>	0.85

那佐2-スパンNo. 17



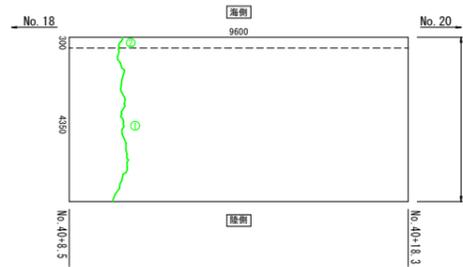
補修内容	番号	計算式	単位	数量
ひび割れ補修工(A)	1		m	1.85
ひび割れ補修工(B)	2,3,4,5	1.84+1.95+3.80+0.30	m	7.89

那佐2-スパンNo. 18



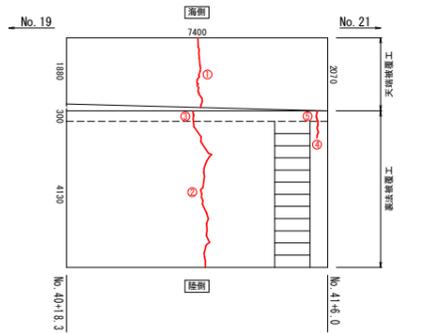
補修内容	番号	計算式	単位	数量
ひび割れ補修工(A)	1		m	1.82
ひび割れ補修工(B)	2,3,4,5	1.74+1.75+3.80+0.30	m	7.59

那佐2-スパンNo. 19



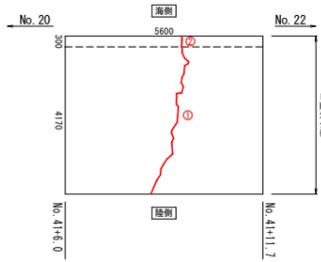
補修内容	番号	計算式	単位	数量
ひび割れ補修工(A)	1,2	4.40+0.30	m	4.70

那佐2-スパンNo. 20



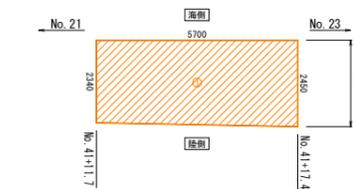
補修内容	番号	計算式	単位	数量
ひび割れ補修工(B)	1,2,3,4,5	1.94+4.20+0.30+0.47+0.30	m	7.21

那佐2-スパンNo. 21



補修内容	番号	計算式	単位	数量
ひび割れ補修工(B)	1,2	4.20+0.30	m	4.50

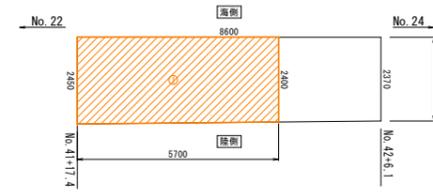
那佐2-スパンNo. 22



補修内容	番号	計算式	単位	数量
打換え工(天端)※	1	(2.34+2.45)/2×5.70	m <sup>2</sup>	13.65

※空調化発生箇所

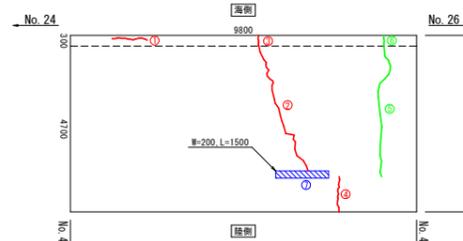
那佐2-スパンNo. 23



補修内容	番号	計算式	単位	数量
打換え工(天端)※	1	(2.45+2.40)/2×5.70	m <sup>2</sup>	13.82

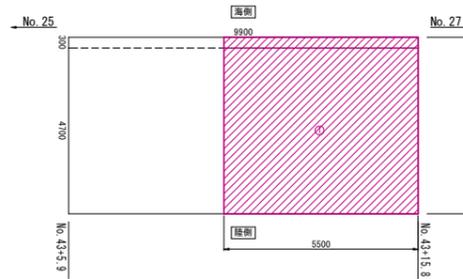
※空調化発生箇所

那佐2-スパンNo. 25



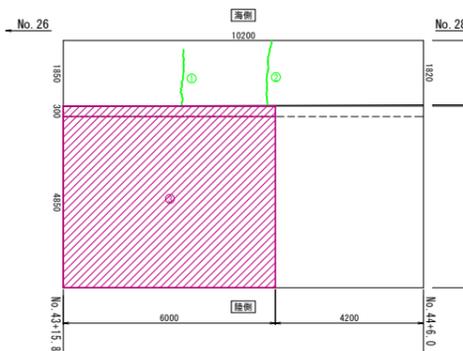
補修内容	番号	計算式	単位	数量
ひび割れ補修工(A)	5,6	3.79+0.30	m	4.09
ひび割れ補修工(B)	1,2,3,4	1.00+3.60+0.30+1.00	m	5.90
断面修復工	7	0.20×1.50	m <sup>2</sup>	0.30

那佐2-スパンNo. 26



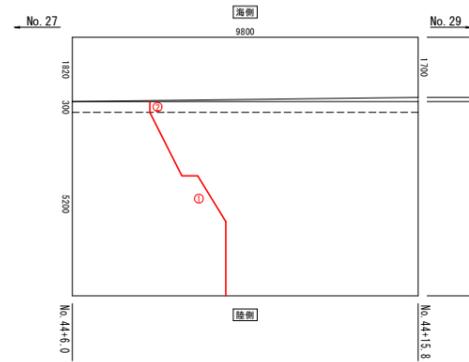
補修内容	番号	計算式	単位	数量
打換え工(裏法)	1	(0.30+0.28+0.214+0.186)/2×0.20×5.50+(4.70-0.28)×0.20×5.50	m <sup>3</sup>	5.40

那佐2-スパンNo. 27



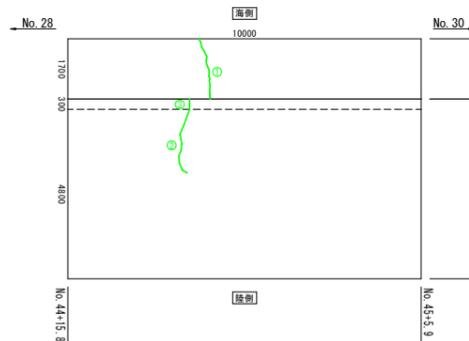
補修内容	番号	計算式	単位	数量
ひび割れ補修工(A)	1,2	1.60+1.84	m	3.44
打換え工(裏法)	3	(0.30+0.28+0.214+0.186)/2×0.20×6.00+(4.85-0.28)×0.20×6.00	m <sup>3</sup>	6.07

那佐2-スパンNo. 28



補修内容	番号	計算式	単位	数量
ひび割れ補修工(B)	1,2	5.30+0.30	m	5.60

那佐2-スパンNo. 29



補修内容	番号	計算式	単位	数量
ひび割れ補修工(A)	1,2,3	1.73+1.80+0.30	m	3.83

補修対策凡例	
ひび割れ補修工(A)	—
ひび割れ補修工(B)	—
断面修復工	—
打換え工(天端)	—
打換え工(裏法)	—
目地補修工	—

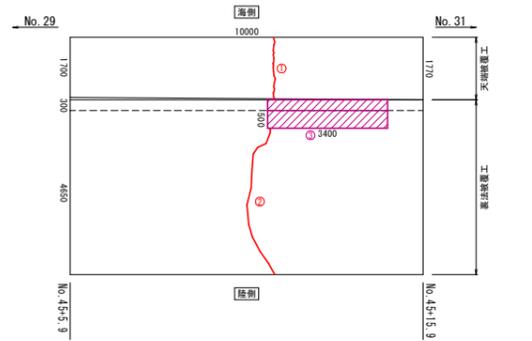
実施設計図面

工事名	R1波土 穴喰海岸 海・穴喰浦 堤防修繕工事		
路線名等	穴喰海岸		
工事箇所	海部郡海陽町穴喰浦		
図面名	展開図(2)		
縮尺	1:100	図面番号	11 / 12
会社名			
事業所名	徳島県南部総合農林局農土整備部<黄波>		

※裏法被覆工の補修において、保有林や民家が支障となる場合は、監督員と協議し、補修範囲を変更するものとする。  
 ※施工目地はひび割れの発生を抑制するため、目地設置間隔は5mを標準とし、基本的には波返工の既設目地位置に合わせるものとする。  
 ※展開図は、計画時点での変状調査により補修が必要と判断された変状に対して作成したものであり、施工時に補修範囲や数量の変更が必要な場合は、監督員と協議を行うものとする。

展開図(その3) S=1:100

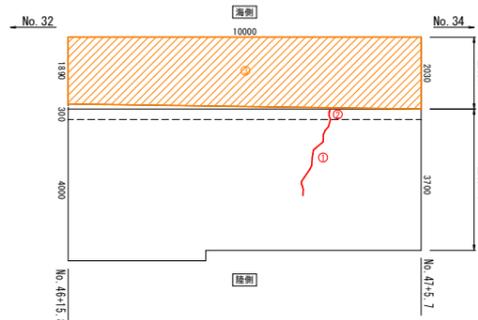
那佐2-スパンNo. 30



補修内容	番号	計算式	単位	数量
ひび割れ補修工(B)	1, 2	$1.76+5.00-0.50(*)$	m	6.26
打換え工(裏法)	3	$(0.30+0.28+0.214+0.186)/2 \times 0.20 \times 3.40 + (0.50-0.28) \times 0.20 \times 3.40$	m <sup>3</sup>	0.48

※打換え工範囲控除

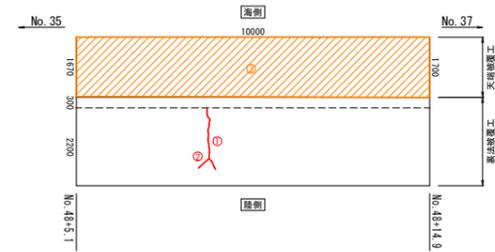
那佐2-スパンNo. 33



補修内容	番号	計算式	単位	数量
ひび割れ補修工(B)	1, 2	$2.28+0.30$	m	2.58
打換え工(天端)※	3	$(1.89+2.03)/2 \times 10.00$	m <sup>2</sup>	19.60

※空洞化発生箇所

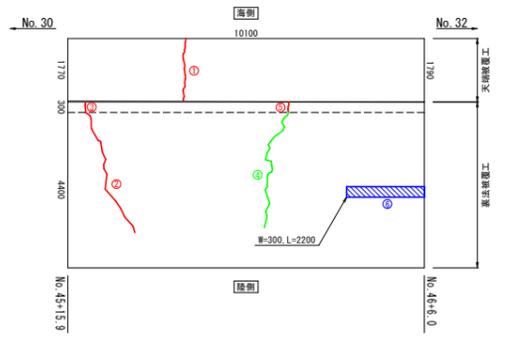
那佐2-スパンNo. 36



補修内容	番号	計算式	単位	数量
ひび割れ補修工(B)	1, 2	$1.75+0.40$	m	2.15
打換え工(天端)※	3	$(1.67+1.70)/2 \times 10.00$	m <sup>2</sup>	16.85

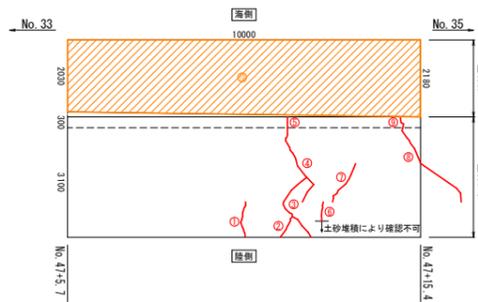
※空洞化発生箇所

那佐2-スパンNo. 31



補修内容	番号	計算式	単位	数量
ひび割れ補修工(A)	4		m	3.40
ひび割れ補修工(B)	1, 2, 3, 5	$1.79+3.40+0.30+0.30$	m	5.79
断面修復工	6	$0.30 \times 2.20$	m <sup>2</sup>	0.66

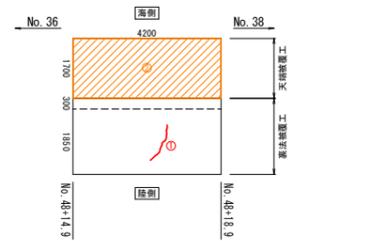
那佐2-スパンNo. 34



補修内容	番号	計算式	単位	数量
ひび割れ補修工(B)	1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9	$1.08+0.46+1.93+2.29+0.30 + 0.55+1.19+2.55+0.30$	m	10.65
打換え工(天端)※	10	$(2.03+2.18)/2 \times 10.00$	m <sup>2</sup>	21.05

※空洞化発生箇所

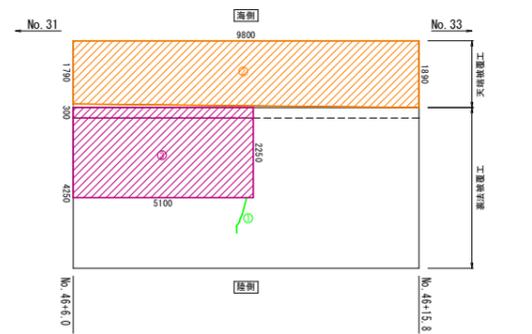
那佐2-スパンNo. 37



補修内容	番号	計算式	単位	数量
ひび割れ補修工(B)	1		m	1.10
打換え工(天端)※	2	$1.70 \times 4.20$	m <sup>2</sup>	7.14

※空洞化発生箇所

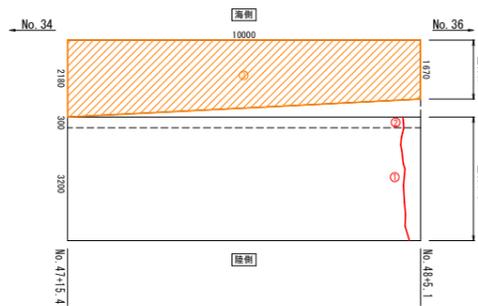
那佐2-スパンNo. 32



補修内容	番号	計算式	単位	数量
ひび割れ補修工(A)	1		m	1.06
打換え工(天端)※	2	$(1.79+1.89)/2 \times 9.80$	m <sup>2</sup>	18.03
打換え工(裏法)	3	$(0.30+0.28+0.214+0.186)/2 \times 0.20 \times 5.10 + (2.25-0.28) \times 0.20 \times 5.10$	m <sup>3</sup>	2.51

※空洞化発生箇所

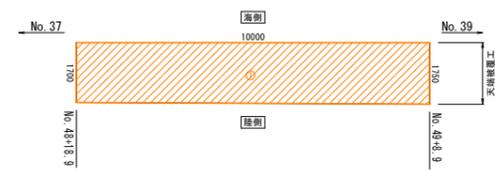
那佐2-スパンNo. 35



補修内容	番号	計算式	単位	数量
ひび割れ補修工(B)	1, 2	$3.14+0.30$	m	3.44
打換え工(天端)※	3	$(2.18+1.67)/2 \times 10.00$	m <sup>2</sup>	19.25

※空洞化発生箇所

那佐2-スパンNo. 38



補修内容	番号	計算式	単位	数量
打換え工(天端)※	1	$(1.70+1.75)/2 \times 10.00$	m <sup>2</sup>	17.25

※空洞化発生箇所

補修対策工凡例	
ひび割れ補修工(A)	—
ひび割れ補修工(B)	—
断面修復工	■
打換え工(天端)	■
打換え工(裏法)	■
目地補修工	▽

実施設計図面

工事名	R1波土 穴喰海岸 海・穴喰浦 堤防修繕工事		
路線名等	穴喰海岸		
工事箇所	海部郡海陽町穴喰浦		
図面名	展開図(3)		
縮尺	1:100	図面番号	12 / 12
会社名			
事業所名	徳島県南部総合県民局県土整備部<美波>		

※裏法被覆工の補修において、保有林や民家が支障となる場合は、監督員と協議し、補修範囲を変更するものとする。  
 ※施工目地はひび割れの発生を抑制するため、目地設置間隔は5mを標準とし、基本的には波返工の既設目地位置に合わせるものとする。  
 ※展開図は、計画時点での変状調査により補修が必要と判断された変状に対して作成したものであり、施工時に補修範囲や数量の変更が必要な場合は、監督員と協議を行うものとする。